

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ありがとう木曾福島会館 閉館記念事業
事業主体 (連絡先)	木曾町 0264-23-2000 (木曾町教育委員会)
事業区分	(3)教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	623,877 円 (うち支援金: 467,000 円)

事業内容

木曾福島会館が取り壊されるにあたり、新施設の木曾町文化交流センターにその歴史や文化が引き継がれ、更なる利用促進につながるように、施設の歴史展を実施。また、取壊しの決まった建物だからこそできるアートイベントを実施。

- ・52年のあゆみ展：7月9日～7月23日
- ・施設に対する感謝の気持ちなどをメッセージにして壁に残す：7月9日～7月23日
- ・ワークショップ
巨大アート制作：7月9日 小学生61名参加
思い出のプレート制作：7月15日 約20名参加



【巨大アート制作の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①木曾福島会館が地域の公民館活動や生涯学習の場として活用されてきたことを再認識し、公民館活動や生涯学習の場として木曾町文化交流センターの利用促進につながっている。
- ②小学生61名が参加した巨大アートや親子で約20名の参加があった記念プレートづくりでは、施設そのものを利用するといった活動を通し、他では体験できないアート制作に触れることができた。

【目標・ねらい】

- ①公民館活動や生涯学習の場として、木曾町文化交流センターの利用を促進する
- ②巨大アートや記念プレートの制作を通し、子ども達の芸術振興につなげる

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・木曾町文化交流センターは年間来館者目標の40,000人を大きく超える見込みで推移している。(5カ月間で37,000人)
- ・巨大アート制作では参加者が目標より約50%増加。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

木曾町文化交流センターは木曾郡内で初めての図書館が併設されており、地域の憩いの場としてばかりではなく木曾町内外からの利用が期待できるため、図書館と連携しながら幅広い活用につなげたい。

また、普段から様々な芸術に触れる機会を作り、豊かな感性を持つ子どもを育てたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある